

JCOMM2015 企画セッション

MM とデザイン ~コンセプト、機能、そして意匠~

789  
123

# hacchi

八戸ポータルミュージアム はっち

デザインを巡る取り組み

コーディネーター 柳沢拓哉

# はっちのデザインへの取組み(総論)

- 専門家への依頼、**専門性の尊重**
- 専門家と協議し、より良いものを作る**体制**づくり
- **コミュニケーション**を促進する仕掛けづくり
- **予期せぬ出会い**の仕掛けづくり
- **常駐する多様な人材** (ボランティア含む) によるサービス
- 行政の各課に横串を刺す**連携横断的**事業推進
- デザイン面と利便性を検討した館内外のサイン
  - ※サイン不足の面は**コミュニケーション**でカバー。
- 見るだけ、休むだけでもOKだが、見る人→体験する人→練習(公開練習・稽古)する人→つくる人→見せる人への**エンパワーメント** = 「**一緒につくる**」を重視。

**デザイン&コミュニティ (コミュニケーション) デザイン**

# 八戸市の概要

- 八戸市は、人口約23万9,000人、青森県南東部に位置する県内第二の都市。
- 東北新幹線や東北縦貫自動車道八戸線、八戸港(重要港湾)、三沢空港、本州と北海道を結ぶフェリー等、北東北における陸・海・空の交通結節点となっている。
- 県内最多の商圏人口約63.4万人を擁し、岩手県北も含めた広域商業を担う。

①人口:23万9,119人(H25 8月末現在 住民基本台帳)  
【青森県第2の都市】

②商圏人口:約63.4万人(H23)  
【青森県南～岩手県北】

③商品販売額:8,254億円(H19)  
【青森県第2位】

④製造品出荷額等:4,456億円(H23)  
【北東北最大の工業都市】

⑤八戸港水揚げ数量:11.2万トン(H24 全国6位)  
【全国有数の水産都市】

⑥八戸港コンテナ取扱量:42,863TEU(H24)  
⇒過去最高のH22(45,430TEU)に次ぐ取扱量まで回復  
【東北有数の港湾物流都市】



# 新たな交流と創造の拠点「はっち」

八戸ポータルミュージアム【はっち】はこのまちがもっと、このまちらしく輝くために、地域の資源を大事に想いながら、まちの新しい魅力を創り出すところです。



はっち  
78c  
1つ  
hacchi

地域の特長を表したシンボルマーク

シンボルマークは、デザイナーの古平正義氏により、数字の8をモチーフとしてデザインされたものです。八戸が南部地域の一戸から九戸まで数字を冠するまちに囲まれ、また「はっち」も中心市街地の三日町、六日町といった市日を表す町名の中にあるなど、八戸の地域的な特長を表しています。

## 第1期 八戸市中心市街地活性化基本計画（H20.7）

### <基本方針>

- ①はちのへの文化交流のメッカをつくる
- ②まちなかの見どころ・もてなしを充実する
- ③魅力ある店々が連なる回遊空間を創出する
- ④暮らしやすい住まい環境を整える
- ⑤まちなかに来やすくする

### はっちのミッション

## はっちは まちを元気にします

- 1 ● 八戸のやる気をさらに引き出します
- 2 ● まちの連帯感をつくります
- 3 ● ほしいものがあるまちにします
- 4 ● 歩きたくなるまちにします
- 5 ● 八戸資源を再発見するきっかけをつくります
- 6 ● 八戸流の情報発信をします
- 7 ● 子どもからお年寄りまで共に育て合う場をつくります
- 8 ● 新しい価値と表現を生み出す場をつくります

# はっちの事業

「はっち」で何をするの？

当初は山車会館。でも今は **市民** **観光客** みんなが楽しめる複合施設



**1**  
会所場  
づくり

**2**  
貸館事業

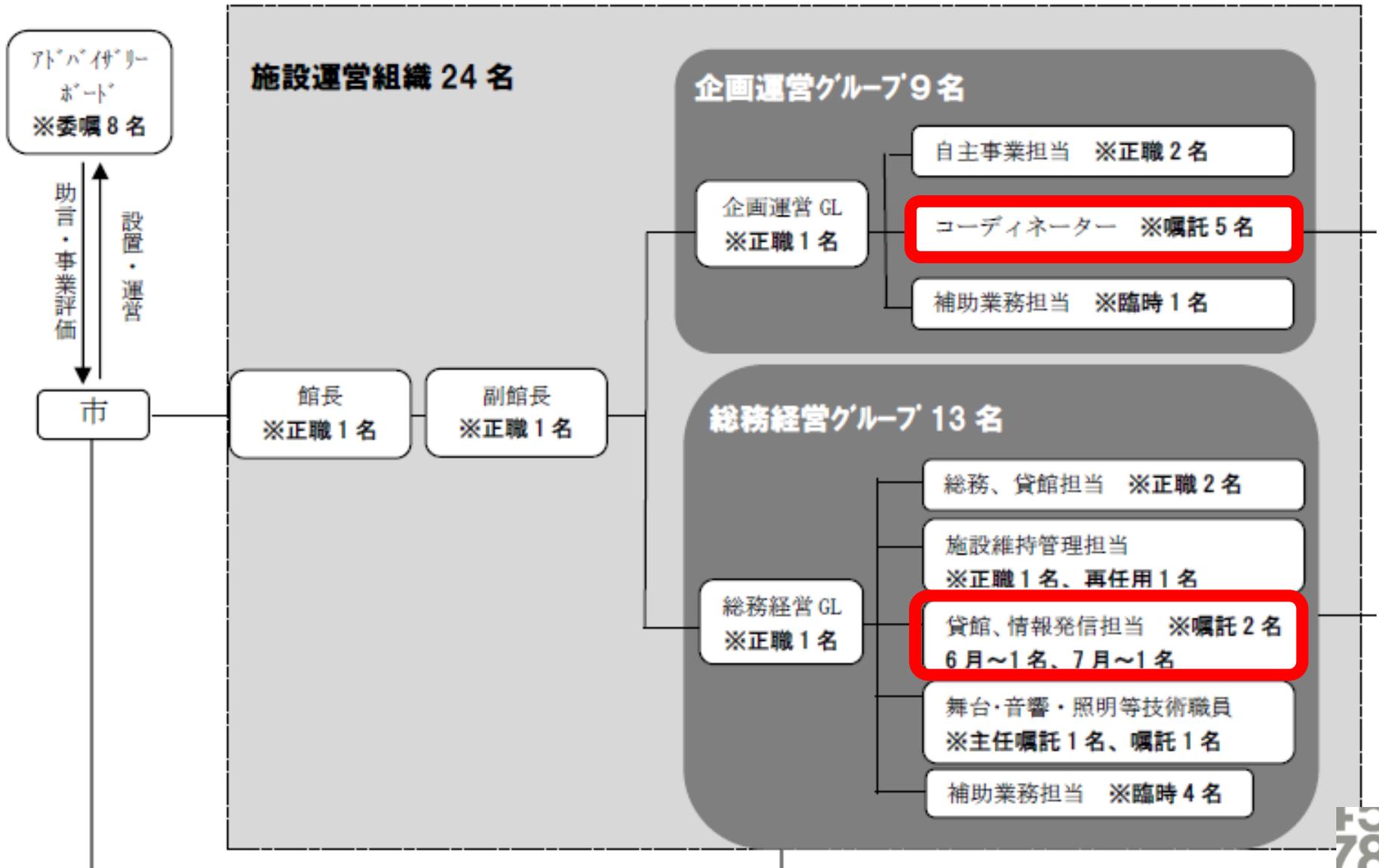
**3**  
自主事業

基本方針

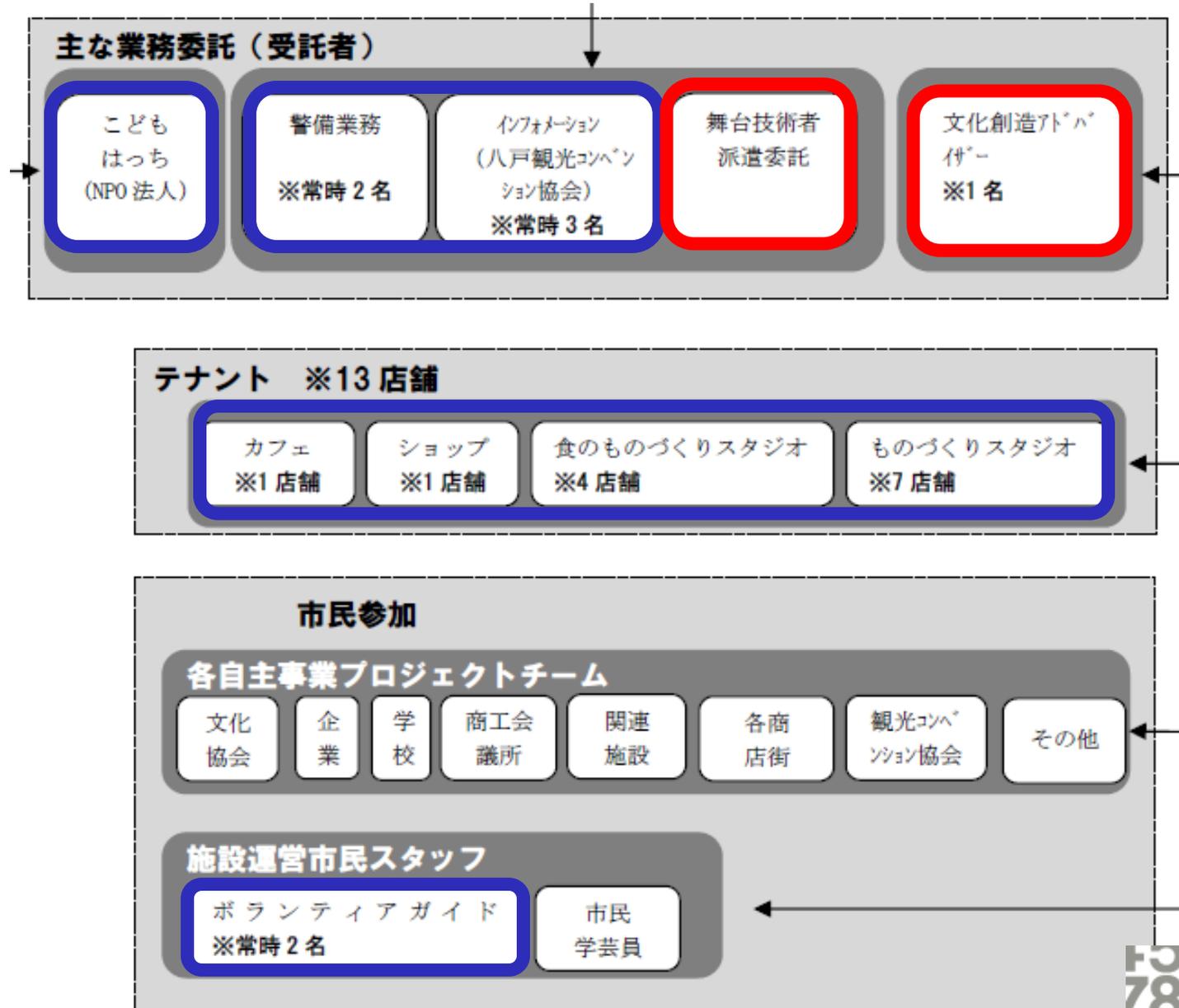
- 1. 中心市街地賑わい創出
- 2. 文化芸術活動の振興
- 3. ものづくりを通じた新しい価値創造
- 4. 八戸の魅力発信、観光を通じた地域活性化

何度も訪れたいくなる複合施設

# 八戸ポータルミュージアム運営組織図1



# 八戸ポータルミュージアム運営組織図2



# 外部人材の積極登用 1

## ■コーディネーター

準備段階より3名を嘱託(週30時間、副業可)採用。  
⇒開館後は5名。他に内部デザイナーなど嘱託採用。

### ◎主たる業務:

- 準備段階
- ・地域資源のリサーチ
- ・先進事例の調査、視察
- ・開館後を見越した市民ワーキンググループの組織化
- ・ディレクター、委託先との計画策定業務
- ・プレ事業の企画・実施およびアーティスト・クリエイターの対応

# 外部人材の積極登用 2

## ■ディレクター

開館年より設置。開館年は3名。主任はアート事業、他にデザイン・広報事業、観光事業に2名。その後、アート事業の1名のみで運用中。

### ◎主たる業務:

アート事業: オープニングイベントの統括、アーティストレジデンスプロジェクトの基本設計、アーティストの紹介など

デザイン: 広報戦略・イメージ戦略全般、ロゴ規定などの外部デザイナー・市当局との調整、館内サイン計画、建築細部の最終修正監修

観光事業: 市内観光関係(民間、施設)との調整、協働事業の実施

# 外部人材の積極登用 3

## ■アドバイザーボード (2015年7月31日現在)

企業メセナ協議会代表理事・専務理事	加藤種男 氏
クリエイティブ・プランナー	関橋英作 氏
東北大学特任教授・元仙台市部長	志賀野桂一 氏
JTB東北プロデューサー	坂口純子 氏
八戸学院大学学長	大谷真樹 氏
八戸高専副校長	河村信治 氏
八戸グランドホテル顧問	高畑紀子 氏
八戸市史編纂委員	高橋 晃 氏

- 諮問に応じて、事業戦略等についてアドバイス。
- 市内外の専門家を委嘱。場合により市の他部署管轄の事業についても助言を行っている。

# 「はっち」を産んだ発想の転換①

商店街の魅力とは？

街に人が  
来ない

商店街の  
衰退

魅力のない  
商店街

街に人が  
来ない

街に人が  
来る

商店街の  
活性化

魅力のある  
商店街

街に  
人が来る

そこで人を  
集めるための別の発想

# 「はっち」を産んだ発想の転換②

賑わいの  
創出

観光の振興

文化の振興

八戸ポータルミュージアム

はっち

hacchi

新たな交流

創造の拠点

# 参加のデザインによる複層的市民参加

## みんなと つくる

- 観光展示も市民が作りました
- ものスタでものづくりを推進します
- 自分のクリエイティビティを発見します

## みんなが 発見する

- 地域資源の価値を見出します
- 市民ひとりひとりの物語に出会えます
- アートプロジェクトが発見を誘発します

## みんなが つながる

- 観光、アート、子育て、ものづくり、市民活動がオーバーラップします
- ひととひとが新しい関係を構築できます
- 市民活動のメッカです

## みんなが 運営する

- ご案内するのは市民です
- 中心街をおもしろくする市民の拠点です
- 地域のお祭りや郷土芸能のステーションです
- 各階のリビングはみんなの会所場

地域資源の価値の再発見

シビックプライドの醸成

コミュニケーションの再構築

## 中心街活性化・八戸の発信

これまでに類のない  
地域活性化の施設



市民一丸となって  
創りあげていく  
新しい公共施設

# hacchi

八戸ポータルミュージアム はっち

「自分のすることが、市民や観光客に喜ばれている」という、  
達成感を抱いてもらいながら、**市民力により発展し続ける施設**

# 愛称は「はっち hacchi」

## 「はっち」は公募により決定

1. 八戸の「はち」

⇒ はっち

2. hatch (船、航空機等の出入口)

⇒ ポータル

3. hatch (孵化する)

⇒ 生み出す

4. 着地型観光 ⇔ 発地(hacchi)型観光

⇒ ここから各地に送り出す



# シンボルマーク・ロゴタイプ

トコシ  
789  
123  
hacchi

- グラフィックデザイナー古平正義氏制作
- ①一戸～九戸の自治体の中心と連携  
②八戸市中心街（朔日町～廿八日町）  
2種類の数字のつくまちを図案化
- グッズ展開、広報物、webサイト等での利用しやすさを想定
- ロゴタイプ、シンボルマークの利用規定については開館後の様々な利用を想定しながらデザイナー、ディレクター、事務局で協議を繰り返し策定。

# 2011年2月11日オープン！



ちなみに、この日の数字を全部足すと...

$$2 + 0 + 1 + 1 + 2 + 1 + 1 = 8$$

# 特徴的な施設機能の一部

## リビング4とライブラリー

広々とした空間にカラフルなインテリアを設置。  
アートやデザインを中心とした本や雑誌を備えたライブラリーも備えており、読書をしながらラウンジとして気軽に休憩できます



# 館内の什器はデザイン性を重視して配置

- 展示工事の一環として什器を用意
- デザイン性の高い家具に触れてもらいたい
- イームス、フリッツハンセン、天童木工



# 特徴的な施設機能の一部



## こどもはっち

東京おもちゃ美術館と同ディレクターが監修。子育て世代の大人と子どもたちが楽しみながら豊かな交流ができる、地域の木をふんだんに使った施設

# 特徴的な施設機能の一部

## ものづくりスタジオ

ものづくりの制作現場を見学しながら、作家との対話を楽しんだり、お気に入りの作品を購入したりできるのが、工房兼ショップ「ものづくりスタジオ」。八戸地域の伝統工芸から新進気鋭のものまで、さまざまなクラフト作家のお店が集まっています



# 特徴的な施設機能の一部



## レジデンスA～E

24時間使用可能な5つの創作スペース。ユニットバスを備え、多様な創作を長期的に展開するアーティスト・イン・レジデンスを実施するほか、通常時は会議等の貸館利用も。招聘アーティストは、地域資源を取材し、住民とコミュニケーションを取りながら制作ができる作家を選定。

# フィールドミュージアム八戸(屋根のない博物館)

## ◎スポットミュージアム

### ①センターミュージアム



八戸ポータルミュージアム

### ②祭ミュージアム



長者山新羅神社

### ③食彩ミュージアム



屋台村「みろく横丁」

### ④物産ミュージアム



地場産業振興センター  
(ユートリー)



## ◎ゾーンミュージアム

### I 渚ミュージアム



種差天然芝生地

### II 田園ミュージアム



島守盆地

### III 歴史・文化ミュージアム



史跡「根城の広場」

### IV 産業ミュージアム



八戸キャニオン

各フィールドへの誘導、案内、交通機関紹介は受付  
(観光C協会委託)や、モビリティセンター、  
市内交通事業者とタイアップして実施している

# 市民作家の発掘、制作による観光展示

## 観光展示に「市民作家」を起用

八戸には、木工や織物など、多彩な作品を創り出している多くの作家がいます。彼らをはっちでは「市民作家」と呼んでおり、作品をメインの観光展示等に起用しています。確かな技術を持つ市民作家を、施設に合わせたクオリティにプロデュースして制作してもらいました。

## 例えば、からくり獅子時計



八戸の資源  
(神楽)

+



高橋みのるさん  
(市内の木工作家)

=



からくり獅子時計

# はっち特派員・ボランティア

## はっち特派員・ボランティアの活躍

市内の観光情報発信を行う市民ボランティア「はっち特派員」や、館内を彩る花や書などを行っていただくボランティアも活躍しています



はっち特派員



も選ばれました。穏やかな波の中で海水  
民の夏のレジャースポットとして愛されて



大須賀 オオアカバナ(大赤花)

丈が1m以上にもなり、次々と小花が  
咲く。葎などに隠れる様に咲いている。  
花期(8月～9月) アカバナ科アカバナ属

ボランティア団体  
「和の会」により、  
種差海岸の旬の花を  
タイムリーにおしら  
せしています

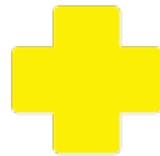
八庵の生け花



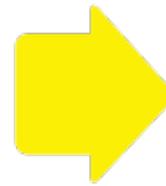
# はっちの展示 まとめ

## I 展示の魅力

八戸の資源



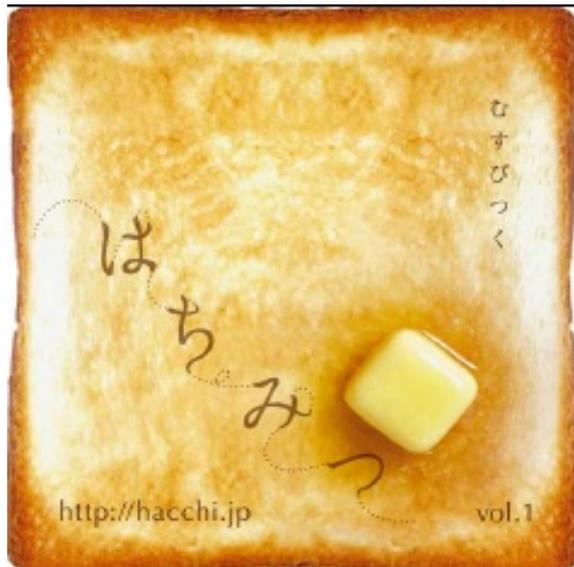
作り手



各ミュージアムに誘う



# オープン前の広報戦略



## 広報紙「はちみつ」の発行

- 施設概要が動いている中であつたため、細かく伝えるのではなく、はっちで行いたいもの、街をどう変えたいかを伝えるコンセプトペーパーの位置づけ

- 行政の箱物という固いイメージや外のアーティストの強いイメージを避けるため、敢えて女性的なイメージで制作



- 中心街の一般商店ではチラシ設置が過渡状態だったため、普段チラシが置けない店や、若物が経営する美容室、カフェ等でも設置しやすいようにリトルプレスの的に小規模化

# オープン前の広報戦略



童話のワンシーンのような世界観のおもちゃたち。ユーモアのある動き、しかけは、見ているだけであたたかい気持ちになります。



青森ヒバ、赤松、ケヤキ、ブナ…それぞれの木の色や特徴で使い分けるそう。年輪を使った“手”が迫力あります。



“からくり”が正確に動くには、歯車がきちんとかみ合うことが大切。分厚い木でも、大小の歯車にズレはありません。



木を切る電動ノコギリを、少し体験させてもらえることに。すごいスピードで上下するノコギリに緊張…



お題は「ハート♥」カーブが難しい!



右は高橋さん、左は私が切りました。高橋さんの断面はとてきれいでした。



高橋さんの経験や手に合わせて作られたオリジナルの道具たち。



2011年2月11日にオープンする「はっち」。1Fのはっちひろばでは、高橋みのるさんが現在製作中の「からくり獅子のからくり時計」が、賑やかな歯打ちの音で時を刻みます。製作中の獅子を少しだけ…。8体の獅子が時間とともにいっせいに歯打ちする様子、今からとても楽しみです。



からくり作家

## 高橋みのるさん

カチカチ、コトコト。優しい木の音と、木のいいにおい。八戸市内の工房で、木のからくり作家・高橋みのるさんに、ものづくりについてお話を聞きました。「木は元々生き物。元々の素材を大事にしたい」。守ることの大切さを話しながらも、「表現したい新しい動きがたくさんある」とチャレンジ精神、遊び心も覗かせる高橋さん。ものづくりのこだわりが込められた一つ一つの言葉に、たくさんわくわくしてきました。

- 展示作品の作家を紹介しながら、大型展示作品の調査、制作プロセスも公開。動画サイトや、イベントでも紹介。
- 空き店舗を借りて発信拠点を設置。招聘アーティストや地元作家滞在制作。

# オープン前の広報戦略

おかあさん ▶ こども

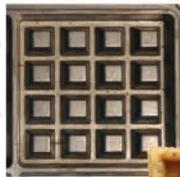
## おかしのおかあさんを訪ねて。

おかしがこどもとすれば、その型はおかあさん。

安くて、おいしくて、かわいいおかしが生まれるのは、  
おかあさんのおかげです。

おかしを生み出す“母なる型”を訪ねて街を歩いてみませんか？

“ものづくり”を大きなテーマとする「はっち」からの提案です。



## みな実のワッフル

南郷産のえごまを使ったワッフル。  
ほかにさくらんぼ、はちみつ、  
おからなどの味があります。  
1個150円。

八戸市三日町18番地  
北山ビル1F  
0178-47-4373



## たつみやの たこ焼

関東風たこ焼。  
外はカリカリ、中はトロリ。  
6個入 300円。

八戸市十三日町16番地 チーノ1F  
0178-46-3340



## 柴幸菓子舗のらくがん

廿三日町、神明宮となりの老舗和菓子店。  
創業時から変わらない味のらくがん菊。  
1個250円。

八戸市廿三日町24番地  
0178-22-4030



## 上館煎餅店の南部せんべい

八戸産ごませんべいは、  
ごまがびっしり。  
16枚入り300円。

八戸市大字類家字錦手下1-8  
0178-22-4358



## あんどう鯛焼店の鯛焼き

初代から引き継がれる45年変わらぬ味。  
鯛焼きの型は30年ぐらい使っています。  
1個100円。

八戸市八日町3番地  
0178-22-3080



## スウィートピーチのマドレーヌ

レモンとバナナのしっとりマドレーヌ。  
1個130円。

八戸市六日町22番地 モリカビル1F  
0178-24-5501

# オープン前の広報戦略

こどもたちの歓声、お店の人と参加者の会話。  
ヨコヲちゃんは、まちの魅力再発見の立役者になった。



八戸ぶらりまち歩き推進事業  
「ヨコヲちゃんを探せ!」レポート

7月30日～9月11日の期間、八戸市中心街を舞台に開催の「ヨコヲちゃんを探せ!」。昨年の「八戸横丁アートプロジェクト～酔っ払いに愛を」の街歩きシンボルとして誕生した『ヨコヲちゃん』でしたが、今年は子どもから大人までより多くの方々に親んでもらおうと、中心街全体にちりばめる企画となりました。10個見つけるともらえる缶バッジ1,000個は早々に無くなり、急ぎよ追加するほどの大盛況ぶり。お店の人たちからは「ヨコヲちゃんが無かったら、一生ごちらのお店を知ることは無かった、と言って再来店された方もいました」という声もあり、「はっちとアーティストとまちのコラボ」が新しいコミュニケーションを生み出した大きな実績となりました。ヨコヲちゃん作者の八戸市出身の美術家、竹本真紀さんは現在、横浜市を拠点に活躍中。次の八戸でのアーティスト活動にご期待ください。



お客様をにこやかに迎えるヨコヲちゃん。場所によって表情がちがう。



参加者とお店の間にアソビゴコロをちりばめてくれた作者の竹本さん。写真屋さんの店内では、こんなところにヨコヲちゃんがひっそりと。



お店のアクセントカラーにコーディネートされたヨコヲちゃん。



まちの駅「チャレンジボックス」の上にも、ちよこんと。



階段の角度に合わせて。



時々動くこともあるヨコヲちゃん。細い路地でヨコヲちゃんを発見。道すがら「かわいいタイル」や「モナリザさん」に出会えて、ちょっとトクした気分。



汗だくでヨコヲちゃん設置作業をした作者の竹本真紀さん。



みろく横丁の提灯のヨコヲちゃん。なかなか発見は難しそうでしたが、見つけた方は歓声を上げてよこんでいました。



こんなところにも。



お花屋さんの店内の場合は、



見上げてみると…ほら。



竹本さんは1軒1軒、お店に合わせたヨコヲちゃんを作りました。



- 20本以上のプレイベントの企画・実施・評価。（事務局中心、アーティスト中心、市民ワーキング中心、商店街等外部中心、既存イベント抱合せ等）
- 箱の中に納まらない事業を実施するため、電車で移動する食べ歩きツアー、中心街のお店で買い物をしての料理対決

# オープン後の広報紙

## 広報紙「はちみつ」

施設イベント情報掲載  
などのため、大型化。

- ・年4回発行
- ・部数 約15,000部
- ・タブロイド8ページ



# クリエイター・デザイナーとの複合プロジェクト

## 「八戸レビュー」写真集制作

はっちの開館記念企画として、88人の一般市民のレビューを元電通の佐藤尚之（さとなお）氏らの指導のもと、88人の公募ライターが執筆。そのポートレートに梅佳代、浅田政志、津藤秀雄の3人の写真家が撮影。写真集は森本千絵ディレクション。この写真集は2012グッドデザイン賞を受賞



「八戸レビュー」は横浜トリエンナーレ2011にも出展

八戸レビュー  
写真集  
全国書店で  
発売中!!!

八戸市民  
梅 佳代  
浅田 政志  
津藤 秀雄  
木村 友祐  
佐藤 尚之  
森本 千絵

はっち1Fミュージアムショップで販売。

八戸ポータルミュージアムはっち  
オープニング特別事業として  
今年2月に開催された写真展、  
「八戸レビュー」。  
この写真展の展示された88の写真を88の寄稿、  
プロジェクトの過程がまとめられた  
写真集が完成しました。  
アートディレクションは、  
現在前編の収録する両千絵、  
日々八戸に生きる人々の姿、  
人と人の絆がここにぎらめいています。

出版/美術出版社 2,000円(税込)  
監修/八戸市【八戸ポータルミュージアムはっち】



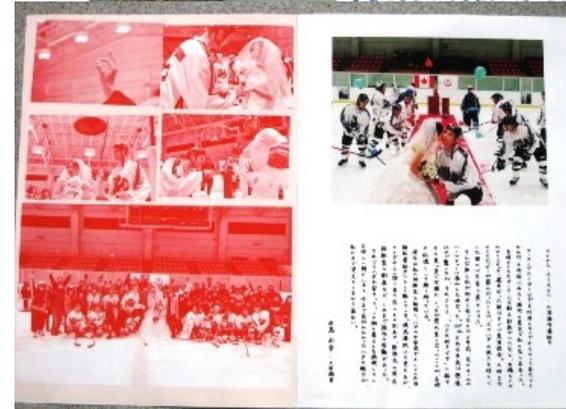
## 八戸レビュー 88 HACHINOHE REVIEW

梅佳代、浅田政志、津藤秀雄  
3人の写真家と88のストーリー!

みみん  
んなの  
のの街、  
日々、  
生きる

八戸レビュー

八戸ポータルミュージアムはっち  
2012年2月10日(土)～2月12日(月) 10:00～18:00  
2012年2月13日(火)～2月15日(木) 10:00～18:00  
2012年2月16日(金)～2月18日(日) 10:00～18:00  
2012年2月19日(月)～2月21日(水) 10:00～18:00  
2012年2月22日(木)～2月24日(土) 10:00～18:00  
2012年2月25日(日) 10:00～18:00  
2012年2月26日(月)～2月28日(水) 10:00～18:00  
2012年2月29日(木) 10:00～18:00  
2012年3月1日(金)～3月3日(日) 10:00～18:00  
2012年3月4日(月)～3月6日(水) 10:00～18:00  
2012年3月7日(木)～3月9日(土) 10:00～18:00  
2012年3月10日(日) 10:00～18:00  
2012年3月11日(月)～3月13日(水) 10:00～18:00  
2012年3月14日(木)～3月16日(土) 10:00～18:00  
2012年3月17日(日) 10:00～18:00  
2012年3月18日(月)～3月20日(水) 10:00～18:00  
2012年3月21日(木)～3月23日(土) 10:00～18:00  
2012年3月24日(日) 10:00～18:00  
2012年3月25日(月)～3月27日(水) 10:00～18:00  
2012年3月28日(木)～3月30日(土) 10:00～18:00  
2012年3月31日(日) 10:00～18:00



# 地元ITクリエイターとの共同開発

## iPhoneアプリ「i8nohe」

開館に合わせ、iPhone用アプリを制作。  
八戸美人時計や八戸（南部）弁ラップなどが楽しめます

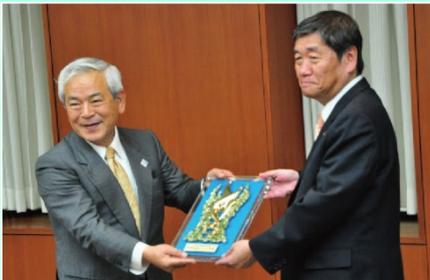


# はっちへの評価のことば

## 青柳文化庁長官のことば

八戸市が文化庁長官表彰受彰(H25年度)

- 「はっち」ができたことで、空き店舗が減り、新たな動きが生まれ、まちはとてもいい回転をしている。
- 「何をやりたいのか」そのためのハコを造るというはっち流のやりかたはハコモノを造る時の王道。最初の戦略・設定が優れていた。
- プレ事業を並行してやってきたことや参加のプロセスを踏まえて市民の中核に位置し、個々のプライドを高めていることも素晴らしい。



## 佐藤尚之氏のブログより

- 「地方自治体がむやみにつくるありがちな箱物と思い込んでいたが全然違う。
- そのレベルの高さにびっくりした。基本はミュージアムなのだが、それが「展示」ではなく「インスタレーション」にプロデュースされていて、八戸市民が八戸を再認識でき、八戸市民じゃない人が八戸を知ることにもできるように作られている。」

## 平田オリザ氏の著書等より

- この施設(はっち)の特徴は、観光と文化を融合させた点にあり、施設名が示す通り、観光案内所的な役割も果たしている。ここは八戸の玄関口となるような広い意味での「博物館」なのだ。
- このような、文化のためだけの文化施設ではなく、市民と観光客がともに楽しめる文化施設というのは、国内はもとより、海外にもあまり例がない。

# 冊子、雑誌、テレビ番組も多数取り上げられました

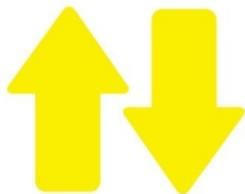


# はっちの取り組みの影響

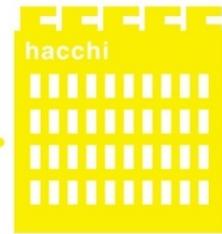
- 外部人材の積極登用⇒
  - ・他課で専門嘱託の採用増
  - ・はっちをスルーした人材が地域でデザイナーや起業家に
- 市民参加の促進 ⇒
  - ・年間来館者が毎年増加
  - ・来館者が企画サイドやボランティアへ
- 広報物等への注力 ⇒
  - ・既存の市内イベント等の広報物、企画そのものも（対抗して？）向上
  - ・クリエイター・デザイナーの自主企画が市内で多数発生

はっちができてからの

成果



開館4年後



空き店舗・  
空き地率

**9%**低下、平成29年度目標値を達成

通行量

(2010年比)

中心市街地

はっち前

**40%**増

**145%**増

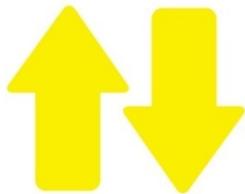
中心街の  
新規事業所

2011年2月11日～2014年3月31日

**50**事業所(店舗含む)開設

はっちができてからの

成果



開館4年後



開館から4年4か月  
(平成27年6月2日)

来館者

400万人達成

大型空きビルの民間再開発の動き

3事業

旧ビルの売り場面積合計17,059m<sup>2</sup>

